2023 年 8 月 3 日

株式会社ＣＳＳホールディングス
代表取締役社長　水野　克裕
(コード番号：2304　東証スタンダード)

日本証券新聞「兜町の御意見番　平野憲一の相場　表街道/裏街道」に掲載されました

日本証券新聞の毎週水曜日の連載記事「兜町の御意見番　平野憲一の相場　表街道/裏街道」第 450 回 2023 年 7 月 26 日号に当社が紹介されました。
“株一筋 50 年”のマーケットアナリスト、兜町の御意見番平野憲一氏による「CSS、インバウンドの恩恵大出し」という見出しで、インバウンドの恩恵による今後の業績への見解やさらなる株価の上値期待について寄稿されました。

記事詳細は当社コーポレートサイトにて紹介しています。ぜひご一読ください。
URL：https://www.css-holdings.jp/news/document.html?year=2023&id=20230802-83998ce8

兜町の御意見番

平野憲一の相場
表街道／裏街道
第450回

平野憲一氏プロフィール
1970年立花証券入社。2006年執行役を経て、2014年7月独立。現在、ケイ・アセット代表。「株一筋50年」のマーケットアナリストとして鋭い分析に定評がある。日経CNBC経済解説委員会コメンテーター、日本証券アナリスト協会検定会員。

ＣＳＳ、インバウンドの恩恵大出し

CSSホールディングス（2304・S）はスチュワード（ホテルの食器洗浄、衛生管理）事業を主力とし、空間プロデュース事業等の多角化戦略で伸びているサービス企業です。

コロナ禍の影響で2021年9月期は大幅減収で4億2000万円の最終赤字となりましたが、前22年9月期の連結業績は売上高108億8300万円で、前年同期比15・6%の増収で、前々期の90%まで回復し、営業利益1億8600万円の赤字ながら、経常利益8100万円、最終利益1億200万円の黒字となり、前期の5円配に10円の記念を付けて15円配に増配しました。

今9月期連結業績予想は、売上高141億3100万円（前期比29・8%増）、営業利益7億1700万円（前期は1億8800万円の赤字）、経常利益2億5300万円（前期比210・8%増）、当期純利益1億6400万円（同60・0%増）と増収増益で、年間配当も前期の記念配10円をそのまま残しさらに2円プラスして17円になる予定です。

これらの材料を受けて株価は6月ばまで大きく上げましたが、コロナの趨勢や新事業の可能性を考えると、利益の伸びはまだこれからで、さらなる上値期待ができると考えます。高値調整となっている今がエントリーのタイミングと思い

今回紹介しました、6月の訪日外国客数は207万3300人（推計）と、5月の189万8900人を上回り、2020年2月以降で初めて200万人を突破しました。この数字はまだまだ伸びるはずで、利益もまだまだ伸びると思います。最近ではリードサービス事業や空間プロデュース事業も伸びて来ました。特に空間プロデュース事業（イベント用音響機器の販売、防犯カメラ・AV機器の販売・保守）が有望です。

また前9月期を含めて3カ年の中期経営計画「Value Innovation 2024」を推進していますが、当初の最終年度である24年9月期の目標は売上高143億円、最終利益2億円、ROE（自己資本利益率）8%以上となっていましたが、売上高150億円、最終利益2億5000万円、ROE8%以上に上方修正されています。

30年の眠りから覚めた日本経済を反映する大相場、1年や2年では終わらないと定義しきましたが、その原動力の一つがインバウンド消費で、その恩恵を最も受ける企業の一つが当社だと思います。押し目買い一貫で良いと思います。

※毎週水曜日掲載します。

出所：日本証券新聞 - 2023 年7 月26 日(水)付
※本記事は日本証券新聞社の許可を得て転載しています。

＜会社情報＞
会社名：株式会社ＣＳＳホールディングス
所在地：東京都中央区日本橋小伝馬町 10-1
代表者：代表取締役社長　水野克裕
URL：　https://www.css-holdings.jp/

＜本件のお問合わせ先＞
株式会社 CSS ホールディングス　経営企画室